

2007.11.23 鈴鹿・杉峠 晴れ Tさんとふたり



遠くの稜線は冠雪

951 登山口 1120-1145 蓮如上  
人の一夜宿・昼食 1256-1307  
杉峠 1351 奥の畑谷分岐  
1450 登山口



左 フジキリ谷の紅葉

上 大シデの木

当初の計画は八風谷経由三池岳の予定であったが、421号が通行止めゆえ、急遽、杉峠に変更した。この変更のおかげで杉峠で霧氷と対面することになるから、本当になにが幸いするかわからない。

登山口から林道を進んでいくと、前方に見える山が白い。これは面白くなるなという予感がする。下は紅葉、上は雪景色という最高の状況になることが期待された。

大シデあたりまでは紅葉もそれなりにきれいであったが、シデの並木の標識あたりからうっすらとした積雪があり、高度をかせぐに従い、雪が目立ってきた。

大ミズナラの近辺ではほぼ一面白となってきた。ミズナラの枝ぶりはりっばであり、「一反ぼうそう」と標識にあった。枝の大きさが一反ほどということからきたようだ。



大ミズナラ

更に高度をかせぐに従い、雪道になってきた。こんな状態とは予想していなかったので、ご丁寧にもふたりとも、撮影に邪魔ということでストックは車に残してきた。すべりそうな雪道を注意して前進した。



もうすぐ峠

峠の近づくに従い、霧氷が目立ってきた。バックの青空にした霧氷は最高にきれいであった。さすが、最後ののぼりはきつかったが、景色がすばらしいし、峠での景色のすばらしさを期待すると、全く、苦しくない。



杉峠

杉峠に到着した。雨乞岳の霧氷、東側の景色は最高であった。東は御在所、国見岳、根の平峠などすかつとみることができた。峠で写真を撮っていると、雨乞から数人が黄色い声とともに降りてきた。また、イブネ方面から3人が降りてきた。



雨乞岳

イブネからの景色がよかったことが話題になっていた。  
時間的な事情や装備(アイゼン)の不備などの理由で雨乞、イブネに行くことは断念し、後日再トライとすることにした。

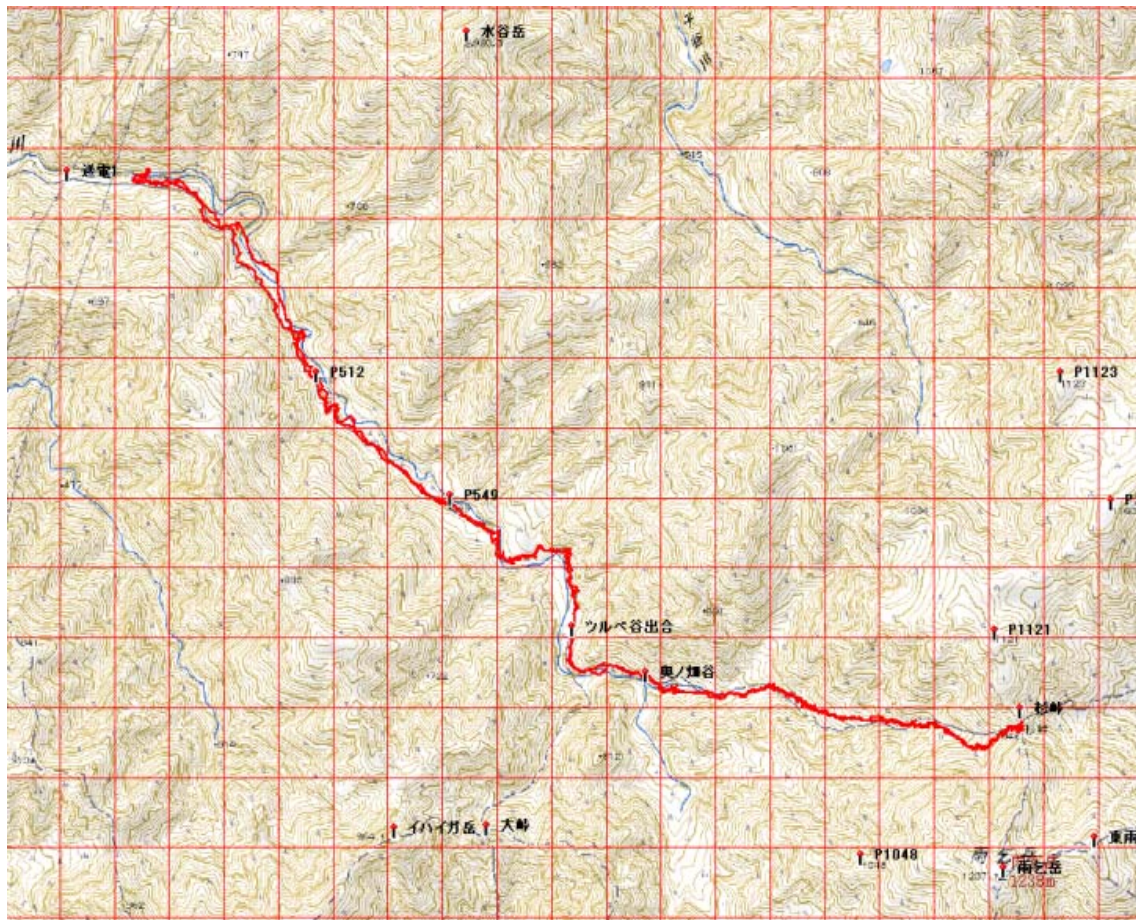


御在所岳

帰りは温度上昇もあり、雪は融けつつあった。すべりそうな道を注意して降りていった。  
本日は本当にラッキーな日であった。霧氷を観賞できるタイミングはそんなになんと思っています。  
栃木にいたとき、磐梯山の霧氷に感激して思い切り写真を撮ったことを思い出してしまいました。



雪の上に落ちた黄色い葉っぱ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは<http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/> です。